

U26b ダークマターの生成とダークエネルギー

小堀しづ

ダークマターは電子のラブが自転して作った磁気的光子を自分の側に置くことによってできた。電子のラブが1秒間に作る磁気的光子のエネルギーは $4.468 \times 10^{-31} a$ J です。aはその時の電子のラブの公転軌道です。即ち、 10^{-20} m時代の電子のラブの公転軌道は、 10^{-20} mなので、1秒間に作る磁気的光子のエネルギーは、 $4.468 \times 10^{-31} \times 10^{-20} \text{J} = 4.468 \times 10^{-11} \text{J}$ です。この事により、その時代の電子のラブが1秒間に作る磁気的光子のエネルギーを算出する。更に、その時代に電子のラブが1秒間に作る磁気的光子のエネルギー=その時代の秒数 \times 1秒間に作る磁気的光子のエネルギーを計算します。その値は14.1Jです。全ての時代の電子のラブが1秒間に作る磁気的光子のエネルギーは14.1Jです。それで、 10^{-24} m時代、 10^{-23} m時代、 10^{-22} m時代、 10^{-21} m時代、 10^{-20} m時代、 10^{-19} m時代、 10^{-18} m時代、 10^{-17} m時代、 10^{-16} m時代、 10^{-15} m時代、にできる磁気的光子のエネルギーを合計すると、 $14.1 \text{J} \times 10 = 141 \text{J}$ です。但し、 10^{-14} m時代は、145億年とするので、 $14.1 \text{J} \times 1.45 = 20.445 \text{J}$ です。合計で、 $141 \text{J} + 20.445 \text{J} = 161.445 \text{J}$ です。陽子のラブが作る磁気的光子のエネルギーは1836分の1ですから、無視する。原初の原子数は1079個です。現代原子数は4%です。96%は電子のラブで、 0.96×1079 個です。1個の電子のラブが現代まで作った磁気的光子のエネルギーは161.445Jですから、宇宙のダークエネルギーは、 $0.96 \times 1079 \text{個} \times 161.445 \text{J} = 154.9872 \times 1079 \text{J}$ です。但し、145億年間のエネルギーのロスを考慮していません。